

# 今後の笹目川の整備

《再度災害防止に向けて》

令和5年1月26日

埼玉県さいたま県土整備事務所

位置図



標準断面図（最下流部）



笹目川排水機場



取入水門



河道状況



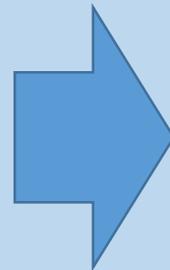
## 【改修状況】

計画：荒川左岸ブロック河川整備計画（平成18年2月埼玉県）

目標：時間雨量50mm程度の降雨を安全に流下させることができる施設整備

### 《笹目川の整備状況》

- ・ 河川延長：5.15km
- ・ 排水機場：30m<sup>3</sup>/s
- ・ 浄化施設：2箇所  
(浄化導水含む)



笹目川流域は都市化の進展が著しく  
戦後まもなく整備が進められ

**計画上の河川改修が概ね完了**している

## 令和元年東日本台風(R1.10.12~13)の被害



	名称	地点	備考
①	ポートコース	ポートコース周辺	床上浸水 125戸
②	菖蒲川	菖蒲橋周辺	床下浸水 49戸
③	菖蒲川	曲尺手橋下流	
④	菖蒲川	文展橋	
⑤	上戸田川	本村上橋	
⑥	さくら川	堀之内橋~八幡橋	※戸田市HP「台風第19号による被害状況及び市の対応状況(第27報)」による
⑦	さくら川	野竹橋~早瀬橋	
⑧	さくら川	南根木橋周辺	

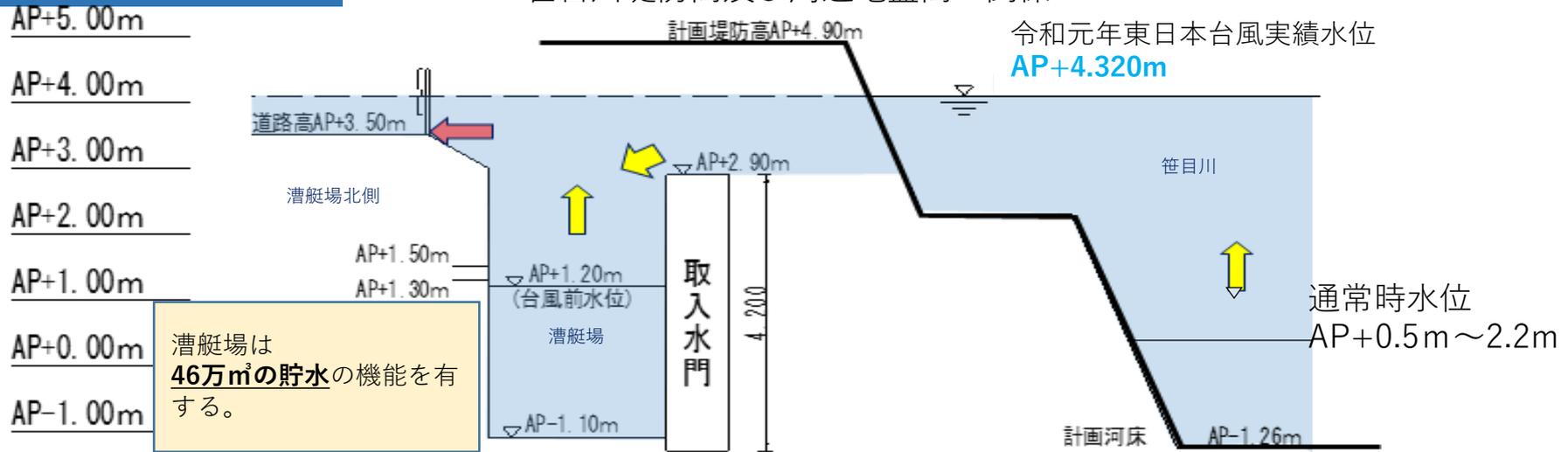
### ポートコース周辺の浸水被害図 (笹目川左岸)



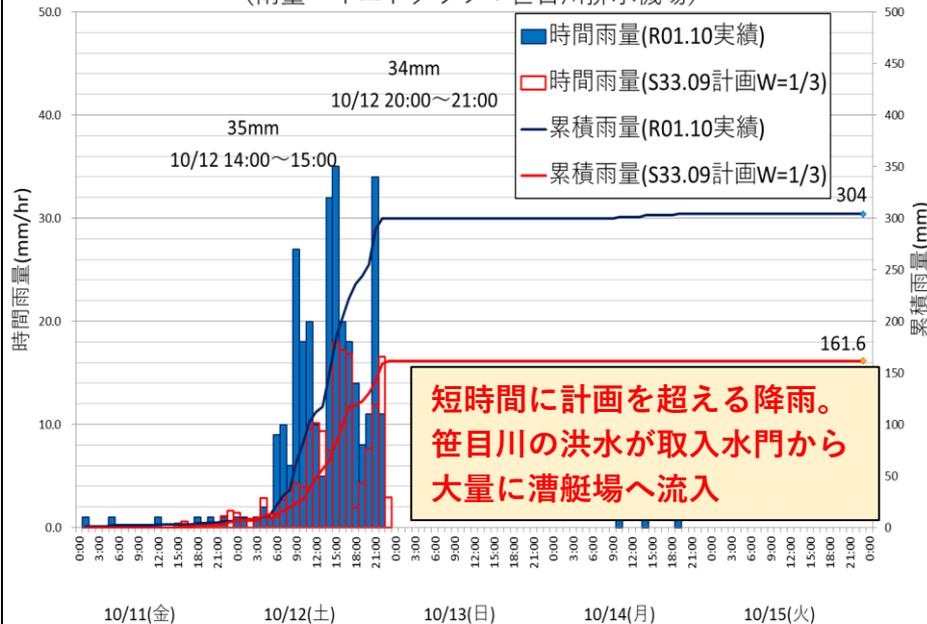
令和元年東日本台風 (R元.10.12~13)  
 最大雨量35mm/h  
 累計雨量304mm  
 床上浸水125戸、床下浸水49戸

## 被害発生メカニズム

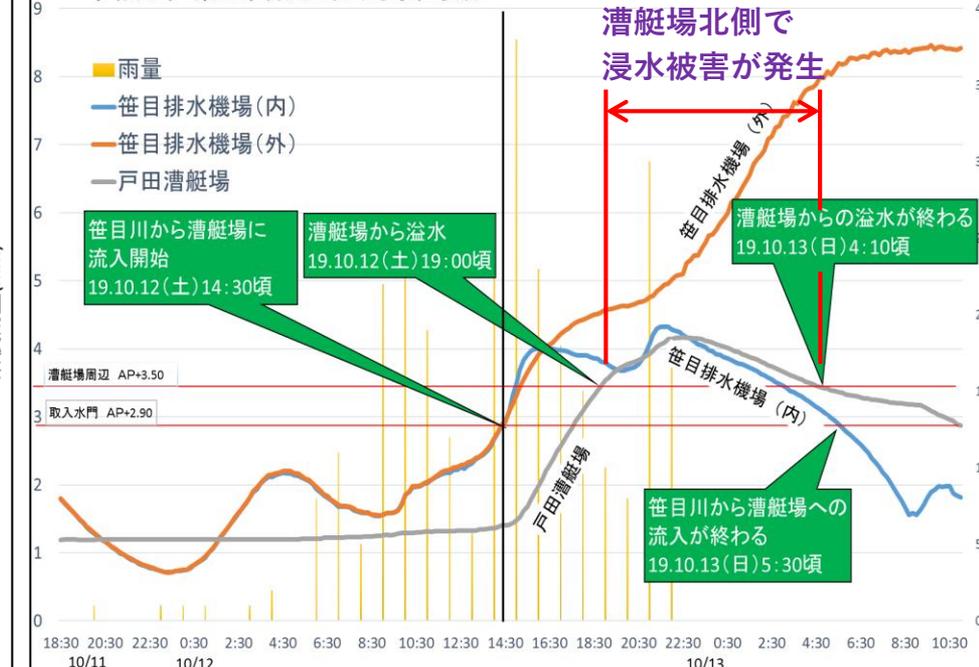
笹目川堤防高及び周辺地盤高の関係



R1東日本台風と河川整備計画の雨量比較  
(雨量ハイトグラフ：笹目川排水機場)



令和元年 東日本台風における水位状況



## 【再度災害防止への取組】

令和元年東日本台風では、河川整備計画上の雨量を超えたことによる洪水で戸田市内で甚大な被害が発生した。

これを踏まえ、戸田市内の河川で市と連携し、**令和元年東日本台風の洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流下させ、戸田市内の浸水被害の軽減を図る。**

(河道から洪水をこぼさない)

### ～笹目川～

#### 対策の視点

視点1 たもつ

視点2 つかう

視点3 つくる

#### 具体的取組

①河床の掘削

②堤防高さの確認、堤防の嵩上げ（余裕高不足区間）

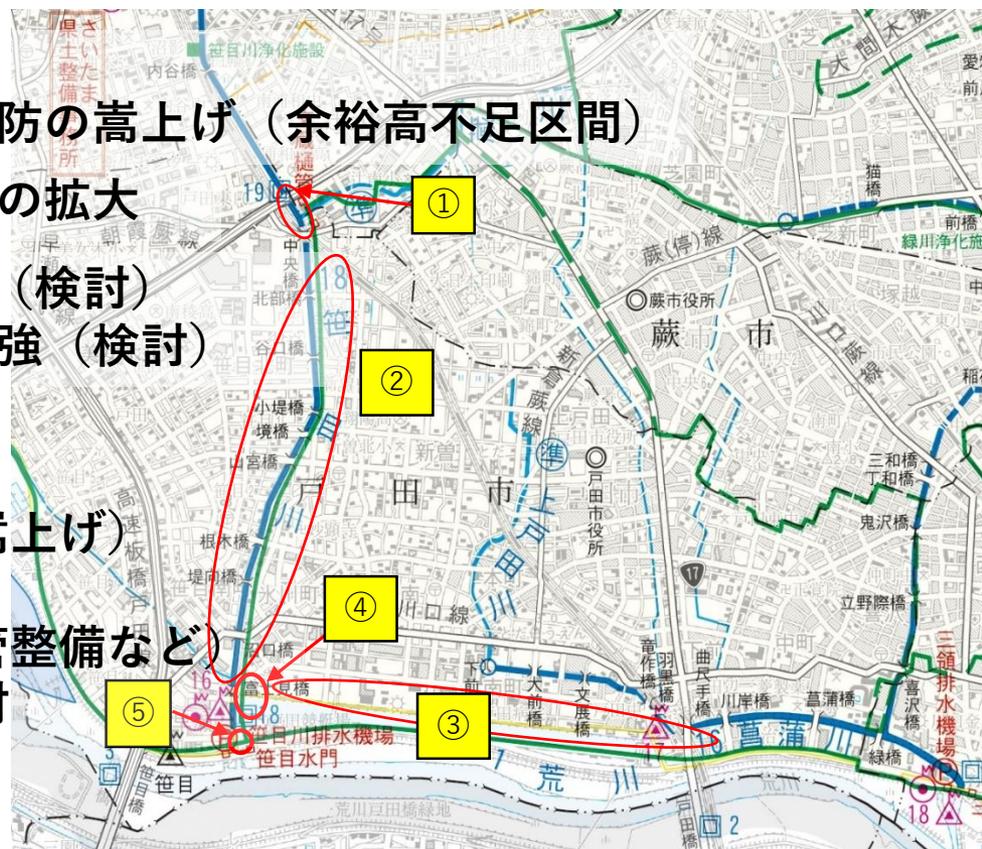
③戸田漕艇場の貯水量の拡大

④(仮称)戸田公園樋門（検討）

⑤笹目川排水機場の増強（検討）

- ・ 県による菖蒲川での取組（河床の掘削、堤防の嵩上げ）
- ・ 戸田市による取組（河川整備、雨水貯留管整備など）
- ・ 流域での貯留量拡大の検討

市内全域の  
浸水被害軽減



## ① 河床の掘削

- 土砂の堆積状況を確認(R2、R3)
- 令和4年度及び令和5年度に堆積した土砂を撤去
- 引き続き堆積状況に応じ河床掘削を実施

外環下流部の堆積状況



## ② 堤防の高さの確保

- 笹目川全体を対象として測量を実施 (R4)
- 必要な高さを確保するため、R5年度から順次嵩上げを実施

②河床掘削

③堤防嵩上げ  
(全体)



令和元年台風前 ○平成15年度から貯水量確保の取組  
 (～令和2年度) ○予備放流後の水位 AP + 1.2m  
 (ボート競技に支障のない最低水位)

令和元年台風後 (令和3年度～)  
 ○貯水量確保の取組 (令和2～3年度)  
**台風時は従来よりも水位を10cm下げる**  
**→約2万m<sup>3</sup>の貯水量確保**

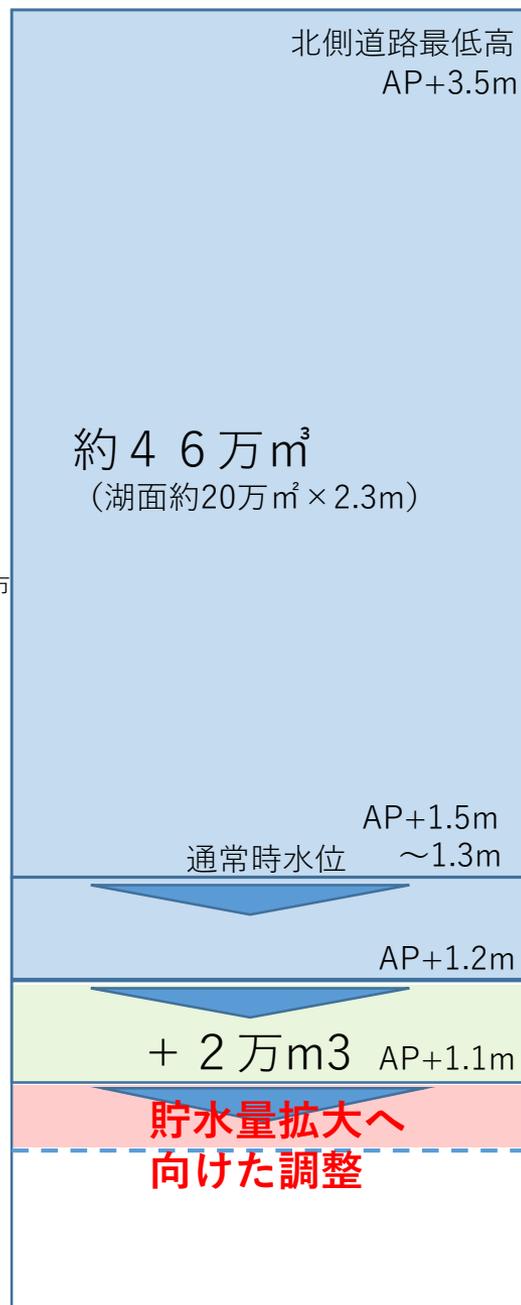
【戸田ボートコースの予備放流に関する覚書 R3.3締結】  
 ※さいたま県土整備事務所(河川管理者)、大宮公園事務所(公園管理者)、戸田市  
 ○確実な操作のための取組

**毎年5月に水位操作のための伝達訓練**  
 大宮公園事務所、さいたま県土、  
 戸田市、戸田ボートレース企業団

貯水量拡大へ  
 向けた調整

- 水位低下で支障が生じる施設の抽出  
 ↓【調査中】
- 対象施設の安全確認手法について協議  
 ↓
- 対応方法の検討及び協議

関係機関 大宮公園事務所、戸田ボートレース企業団、  
 ボート協会、大学ボート監督会など



## 整備の方向性

- ① 笹目川の堤防高さを確保する。
- ② 戸田漕艇場の貯水能力を踏まえ、安全を確保する。

## 現在の取入水門



## これまでの計画

笹目川流域では、全国の中小河川において治水整備の目標となっている**時間雨量50mm程度、年超過確率概ね1/3程度に相当する降雨**により発生する洪水に対して、これを安全に流下させることのできる治水施設の整備

## 笹目川排水機場全景



## 計画変更の方向性

令和元年東日本台風による被害、上下流や本支川の治水安全度のバランスを踏まえ、**年超過確率概ね1/10程度の降雨**により発生する洪水に対して、被害の防止又は軽減を図る

## 笹目川排水機場内部



**令和元年東日本台風と同規模の洪水  
⇒ 溢水を起こさない！！**

## ポンプ能力の増強

も含めて  
整備計画の変更を検討中

笹目川排水機場（現況）

1号機～4号機

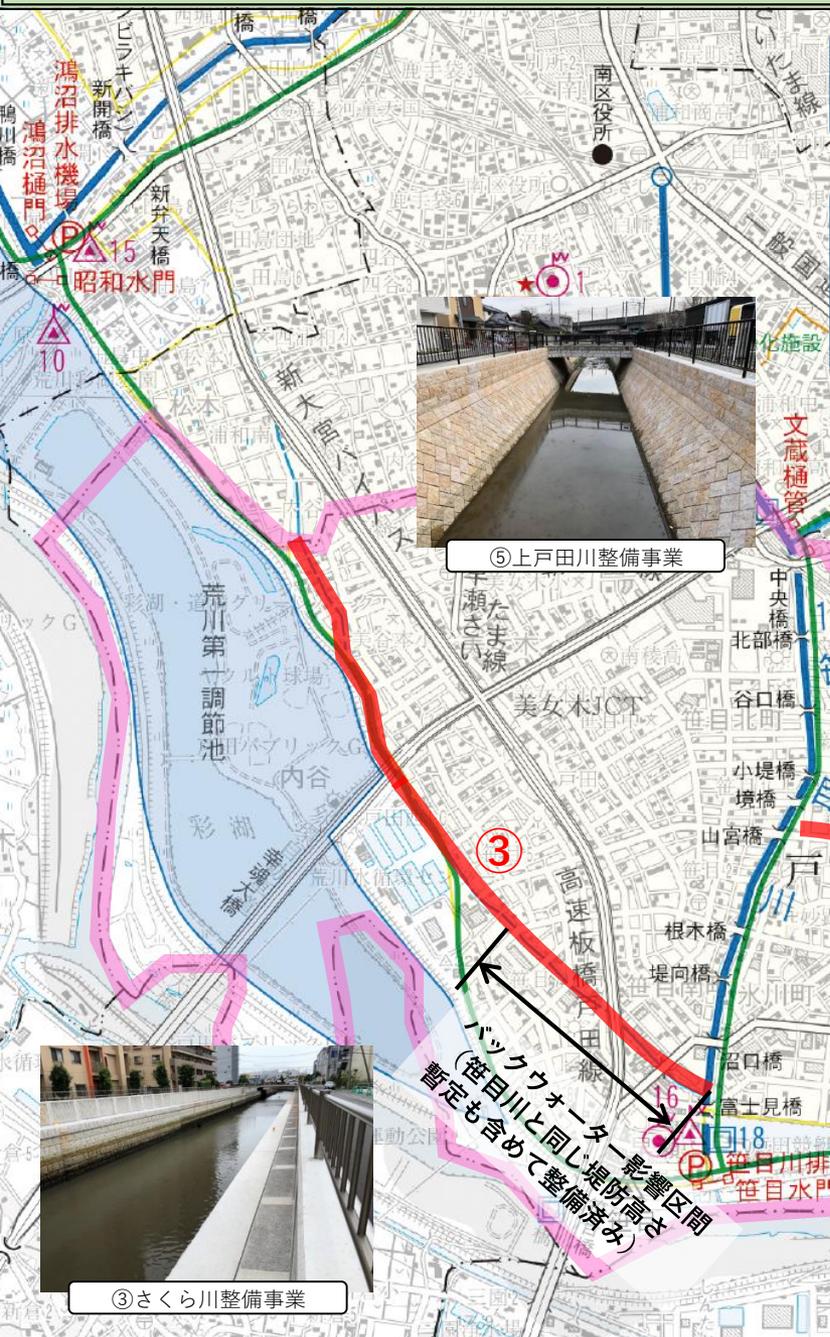
合計：30m<sup>3</sup>/s

- 県：①菖蒲川 河床の掘削（堆積土砂の除去）  
 ②菖蒲川 堤防の嵩上げ(余裕高不足箇所)

- 市（主な取り組み）  
 ③さくら川整備事業  
 ④浸水被害軽減事業（雨水貯留管整備）  
 ⑤上戸田川整備事業

県、市：流域の貯留量拡大の検討【流域治水の促進】  
 ⇒流域治水協議会で意見交換や情報共有を行い、貯留施設などを検討

※流域治水協議会  
 関係者が協同して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するために協議・情報共有を行うことを目的に、国、県、市などで構成されている。



⑤上戸田川整備事業



②堤防の嵩上げイメージ



③さくら川整備事業

バックウォーター影響区間  
 (笹田川と同じ堤防高を  
 暫定も含めて整備済み)



① ②

# 説明会に関する質問について

## ○質問受付期間

令和5年1月26日（木）から令和5年2月28日（火）

## ○質問方法

以下のホームページの**新着情報「今後の笹目川の整備に関する説明会」のお問い合わせフォーム**からご質問ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1001/index.html>



## ○回答方法

期間内にいただいたご質問への回答は、3月中旬頃に同ホームページに掲載します。

御清聴ありがとうございました

お問合せ先

埼玉県 さいたま県土整備事務所  
芝川改修事業担当 上田・渡邊・堀田  
TEL : 048-861-2497  
E-mail : p612495@pref.saitama.lg.jp